

# 香美市合併20周年記念表彰



# 香美市 合併20周年



岩崎 正身 さん (いわさき せいしん)

平成4年に香北町体育指導委員になられ、合併を経て、平成28年度からは「香美市スポーツ推進委員会」の副委員長として、30年以上にわたり市の生涯スポーツ振興と住民の体力向上・健康づくりに力を発揮されています。また、平成18年の合併以前から「香北町体育会」の会長をされており、現在も「香美市スポーツ協会」の会長として活動されています。



酒巻 恭博 さん (さかまき やすひろ)

昭和56年から平成31年まで、少年野球「片地タイガース」の指導者、監督を続けるとともに、やまびこ会発足当時より子どもの見回り活動を行うなど児童の健全育成に尽力されています。また、平成5年から平成30年まで保護司として活動するとともに、平成7年から平成22年まで民生委員・児童委員として、青少年の健全育成や更生に向けて尽力されました。このように、多年にわたる子どもたちへの温かい支援・尽力など、地域社会の発展に多大な貢献がありました。



秋友 英稔 さん (あきとも ひでとし)

昭和55年から「土佐山田町手をつなぐ親の会」の役員として、平成4年から香美市知的障害者相談員として、平成19年から「香美市障害者自立支援協議会」の委員を務められるなど、長年、知的障害や発達障害を持つ方への支援に尽力し、香美市の障害福祉に貢献されています。また、「社会福祉法人 高知県知的障害者育成会」の理事長を務められるなど、香美市だけでなく、高知県下の障害福祉に大きく貢献されています。



藤川 喜壽郎 さん (ふじかわ きじゅうろう)

平成7年から現在まで、民生委員・児童委員を務められ、地域の見回り活動や困りごとの相談などに尽力されており、香美市の地域福祉および児童福祉に貢献されています。また、平成13年からは「旭町老人クラブ」会長、平成22年からは「香美市集会所運営審議会」委員、「香美市人権教育審議会」委員、さらには長きにわたり、「香美市立ふれあい交流センター運営審議会」委員を務められるなど、幅広い分野で香美市の発展に貢献されています。



香美市林業婦人部 (かみしりんぎょうふじんぶ)

※写真掲載は式典参加者のみ

平成2年10月に、前身の「物部村林業婦人部」が県下初の林業婦人グループとして発足。山の手入れ作業および林業先進地の視察や講習会に積極的に参加するなど、森林組合等とともに地域の林業の発展に取り組んでこられました。平成13年頃からは、物部川流域の交流イベントや自然保護活動に参加し、イベントでの鹿肉カレーの提供や市内保育園等でのシイタケ駒打ち体験を実施されています。このような活動は地域でも認められており、35年の長きにわたる活動を通じて、林業および森林環境の保全に多大な貢献をされています。



平成18年3月1日に土佐山田町・香北町・物部村が合併し、香美市が誕生してから20年が経ちました。これを記念して、香美市合併20周年記念式典が3月1日に香美市立中央公民館で開催されました。式典当日は関係者など約100名が出席し、これまでの20年を振り返りながら、これからの香美市を見据えながら、新たな一歩を踏み出しました。

また式典では記念表彰が行われ、岩崎正身さん、酒巻恭博さん、秋友英稔さん、藤川喜壽郎さんの4名と、香美市林業婦人部の1団体が表彰されました。



- 1 香美市が発足して初の採用職員（香美市1期）が、開式のあいさつを行いました。
- 2 20歳の職員が、開式のあいさつを行いました。
- 3 依光市長が、今後の香美市の発展に向けて式辞を述べました。
- 4 香美市のこれまでの20年を振り返る記念動画を鑑賞しました。
- 5 記念表彰の受賞者を代表し、岩崎正身さんが謝辞を述べました。

